



飯山観音 (撮影：小林会員)

令和7年2月号 Vol. 250  
(2025年)

発行：令和7年2月10日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <https://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス [atugikanvola@yahoo.co.jp](mailto:atugikanvola@yahoo.co.jp)

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

## <飯山白山・桜山ハイキングとロウバイ鑑賞>

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：1月19日（日）9：30～15：30

場 所：千頭橋バス停～弘徳寺～あやめの里～金剛寺～ロウバイの丘～  
さくらの広場（昼食）～扇の広場～桜山頂上～扇の広場～長谷寺

参加者：一般29名、会員8名

今回のハイキングは、白山への女坂が倒木により通行困難であり、男坂も思いのほか急登のため急遽コースを変更し、登山の部分については白山ではなく桜山とすることを出発時にお客様にご説明し、ご理解をお願い致しました。

当日は大寒の前日でしたが薄日も差し風もほぼなく、まずは一安心で出発。小鮎川沿いでは、この川の水源は三峰山、辺室山（へんむろやま）付近であること、昔はカワセミがいたが残念ながら今では見かけなくなった事等を話したところ、あるお客様が、近年でも中荻野の広町公園ではカワセミの目撃情報がありますよと教えて下さいました。ありがとうございました！

あやめの里への道すがら材木置き場を見ながら、厚木の名前の由来は“集め木”からきているとする説もあり、江戸時代には御林（おはやし）奉行が幕府直轄林を管理し、許可なく伐採した者は打ち首。丹沢六木とはケヤキ、ツゲ、モミ、カヤ、クリ、スギですが、この木の覚え方、それぞれの木の頭文字をこの順で並べると…なにやら…一つの文になります？！



ロウバイ鑑賞

しばらく川に沿って歩くと対岸には春めき桜の並木あり、広々とした田んぼあり、里山の風情がたっぷりで会話も弾みます。飯山あやめの里も通過、毎年6月上旬には「あつぎ飯山あやめ祭り」が開催され、黄、白、紫などの花菖蒲がとても美しく、「かながわの花の名所100選」にも選ばれている所です。

「あつぎ飯山野良の芸術美術館」脇では、農村や農民の生活などをテーマにした季刊誌「農民文学」や絵画、紙芝居、和風などが展示されていると説明。また道脇には無人販売スタンドもあり、キウイやぎんなんなどを購入されるお客様もいて、今夜の酒の肴もばっちり！さらに厚木市唯一の国指定重要文化財である木像「阿弥陀如来坐像」が安置されている金剛寺収蔵庫の脇から山道に入り、いよいよロウバイの丘へ。お正月明け、まだ他の花の少ない時期に甘いかおりを漂わせるロウバイが、約 1000 本が植えられており、ほぼ満開のなか早い春を満喫して頂きました。

お昼はさくらの広場でとり、標高 280m の桜山ハイキングへ。「扇の広場」や「紅葉の森」までは比較的歩きやすいが、山頂付近はやや急登の部分もあり、ハイキング気分を楽しんでいただけたかと思えます。たどり着いた山頂では会員の音頭で厚木に縁のある「夕焼け小焼け」を合唱、途中小雨に降られながらも来た道をなんとか長谷寺に到着しました。ここで解散し直帰組、もう一度ロウバイ組、飯山観音ガイド組と別れて頂きました。

今回のお客様のご意見・ご感想として、次の行程への出発時間の通知や、登山途中のよ



ゴールの長谷寺に到着

りこまめな休憩、1 班と 2 班の各場所での滞在時間の長さ、登山途中の安全確保のための声掛け等、大変貴重なご意見を頂きました。今後の課題としてしっかり生かしていかなければと思えました。

(トロンナムチャイ 記)

### <かながわガイド協議会 幹部研修会>

行事区分：かながわガイド協議会 行事参加

日 時：1 月 31 日（金）9：30～15：00

場 所：江の島ヨットハーバー・ヨットハウス

参 加 者：会員 2 名

午前【講演会】テーマ「中世の土の城 大庭城」

快晴の当日、研修会が行われる江ノ島へ。江ノ島に渡る弁天橋から海の向こうに見える雪の富士が素晴らしい。会場は以前に阿部会員のお世話で、1964 年東京五輪で使用された大型木造ヨット「湘南の貴婦人」に乗船させて頂いた時に訪れた江ノ島ヨットハーバー。

午前中は藤沢市の学芸員から「中世の土の城 大庭城」の講演。藤沢市大庭にかつて存在していたという中世の山城「大庭城」。関東の城は中世まではほとんど土塁と堀で構成された土の城で、大庭城はそのひとつの事。新編相模国風土記稿に大庭城の記載があるが、近年では発掘調査が継続的に行われ、2018 年に調査結果が藤沢市から報告されている。大庭城が築城された当時、周辺は滑りやすい関東ローム層で覆われていた事が特徴の一つとの説明がありました。

(山下潔 記)

午後【分科会】テーマ「多様化する観光ニーズへの対応」

午後の分科会では、参加団体が二班に分かれて事前のアンケートに基づいて討論となりました。新たな活動の成果、効果については「高齢者対象のゆっくり、短時間コース」「インスタ映えするロケ地巡り」「昼食付人気コース」「同じコースだが頻繁に繰り返し」「移住者へのアピールコース」体験型については「まぐろ解体ショー」「お茶教室、苔玉作り」「工場見学」「商店街巡り、商店主と会話」「花中心で女性をターゲット」各団体地区の特性を生かした企画が発表されました。

市外を含めたお客様の取り組みについては「HPのさらなる活用」「リピーターへ必ずアプローチ」「タウンニュース、チラシ」「神奈川、朝日、読売新聞へ掲載依頼」「協会のQRコード新設」。

他の意見、報告も活発でした。会員の高齢化、減少、新しい企画は共通の悩みですが団体差がありました。集客はやはり、チラシ、HP、SNSのさらなる活用が重要となっていくことでしょう。大手新聞の掲載が一番強力であることは参考になりました。当協会も利用できればと思いました。  
(石川 記)



## 《新年会》

かながわガイド協議会 藤沢宿御弁当

行事区分：懇親推進

日 時：2月2日（日）13：20～14：50

場 所：七沢温泉 元湯・玉川館

参加者：15名

前日は降雪の予報があり心配しましたが、当日は若干の雨が合った程度でバスも予定通りに到着して、全員が無事集合出来ました。受付で会費支払い、シルバーチケットを渡したあと、まず温かい温泉に入りました。会員から新年会用に飲み切れない程のお酒の差し入れがありました。



まず田頭会長の挨拶があり、今年の活動方針などのお話しのあと、乾杯がありました。料理はなかなか豪華で、「椎茸の網焼き」や「しし鍋」など次々にきて、量的にも満足できる内容でした。

催しものとして毛利会員、茂木会員が中心となり、クイズ等がありました。クイズでは豪華？な景品が出るという事で、「厚木市のカラーは赤、青、黄色の他のもう一色は何色か？」など十件ほど出され、皆さま真剣に考えていました。次は会員5人の方々について、観ボラ活動以外の特技、趣味などを当てるクイズがありました。そして本人からその内容

についてのスピーチがありました。最後に森島前会長から閉会の挨拶があり、集合写真を撮り解散となりました。今回の新年会では今後の活動をするうえでのコミュニケーションとエンジョイが出来たと思います。寒い雨の中参加された会員の皆様、そして準備や運営をされた関係者の皆様ご苦労様でした。  
(澤田 記)



## 最近の活動

日付	場所	内容	参加者
1月 11日	アミューあつぎ	定例会	会員 16名
1月 12日	飯山地区	下見 企画ガイド ＜飯山・白山ハイキングとロウバイ鑑賞＞	会員 8名
1月 19日	飯山地区	企画ガイド ＜飯山・白山ハイキングとロウバイ鑑賞＞	会員 9名
1月 26日	宮の里 第三集会所	臨時役員会	会員 8名
1月 31日	藤沢市	かながわガイド協議会 「幹部研修会」	会員 2名
2月 2日	七沢温泉・玉川館	新年会	会員 15名
2月 5日	相川公民館	編集会議	会員 2名

### 編集後記

ロウバイは寒い時期に咲いて、黄色い花びらは蜜蝋のように光沢があり、甘い香りがするので人気があります。1月19日に開催したロウバイ鑑賞ハイキングには29名の参加がありました。山を歩く事で健康増進になるので、高齢者も積極的に参加する傾向にあります。我々ガイドの方も高齢化が進んでいます。危険のリスクが少ないハイキングルートを選定するなどの工夫が必要になってきました。

編集委員 小林 直樹 澤田正弘